

大雨で被災された地域の皆さまへ

歴史資料保全ネット・わかやま

連絡先 電話 073-457-7977 (和歌山大学橋本研究室内)

FAX 073-457-8020 (同上)

e-mail : hozennetwakayama2011@gmail.com



※この QR コードを読み取ると
メールアドレスにつながります

水に濡れた紙・写真の保全・修復について、ご相談承ります

このたびの大雨によって被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

大雨などの災害によって、家や蔵や公民館などに保管されていた資料が水損したり、泥をかぶったりすることがあります。そして、その被災した資料がやむなく捨てられることが起こっています。

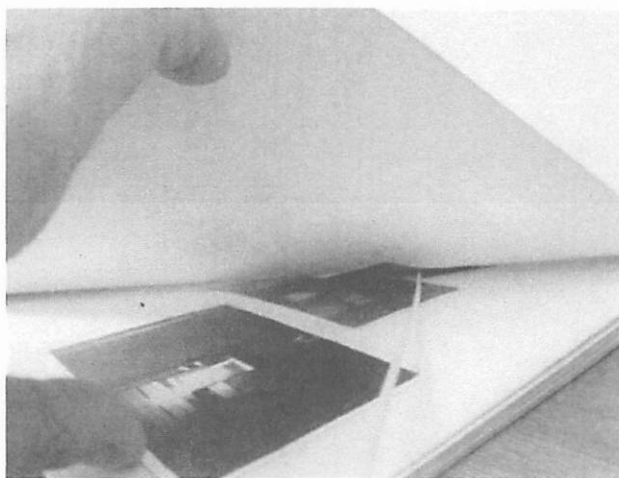
私たち「歴史資料保全ネット・わかやま」(代表 橋本唯子和歌山大学准教授)は、和歌山県および市町村・関係諸団体と連携をとりつつ、大雨で被災した資料を救出・保全する活動を行っています。

被災された地域の皆さま、濡れてしまってお困りの紙類(被災資料)がありましたら、応急処置についてお問い合わせください。できる限り対応させていただきますので、下記までご連絡ください。被災資料の調査・救出へのご理解・ご協力をお願いいたします。

◇被災資料の対応でお困りではありませんか？

- ◎古文書(和紙に墨の崩した文字で書かれた帳面や書類など)や古い本(和綴じの書籍など)
- ◎新聞・写真・アルバム・絵・記録(手紙や日記など)・ノート
- ◎掛け軸などの書や絵画、古いふすまや屏風(古文書が下貼りに使われている場合がよくあります)
- ◎自治会・農会などの団体の記録や資料
- その他、捨てられない大切なものがございましたらご相談ください

【2018年台風21号の時の活動のようす】



※この QR コードを読み取ると
メールアドレスにつながります



お問い合わせ先：和歌山大学橋本研究室内
〒640-8510 和歌山市栄谷 930
電話 073-457-7977、FAX 073-457-8020
e-mail : hozennetwakayama2011@gmail.com